

令和5年12月6日

令和5年12月6日

標 茶 町 議 会  
議案第88号～議案第92号  
審査特別委員会記録

於 標茶町役場議場

## 議案第88号～議案第92号審査特別委員会記録目次

### 第 1 号（12月6日）

開会の宣告	3
委員長の互選	3
副委員長の互選	4
付議事件	
議案第88号 令和5年度標茶町一般会計補正予算	5
議案第89号 令和5年度標茶町国民健康保険事業事業勘定特別会計補正予算	5
議案第90号 令和5年度標茶町介護保険事業特別会計補正	5
議案第91号 令和5年度標茶町病院事業会計補正予算	5
議案第92号 令和5年度標茶町一般会計補正予算	5
閉会の宣告	16

## 議案第88号～議案第92号審査特別委員会記録

### ○議事日程（第1号）

令和5年12月6日（水曜日） 午後 2時45分 開会

### 付議事件

- 議案第88号 令和5年度標茶町一般会計補正予算
- 議案第89号 令和5年度標茶町国民健康保険事業事業勘定特別会計補正予算
- 議案第90号 令和5年度標茶町介護保険事業特別会計補正予算
- 議案第91号 令和5年度標茶町病院事業会計補正予算
- 議案第92号 令和5年度標茶町一般会計補正予算

### ○出席委員（10名）

委員長	長尾式宮君	副委員長	鈴木裕美君
委員	深見迪君	委員	櫻井一隆君
〃	本多耕平君	〃	鴻池智子君
〃	齊藤昇一君	〃	黒沼俊幸君
〃	渡邊定之君	〃	類瀬光信君

### ○欠席委員（1名）

委員 松下哲也君

### ○その他の出席者

議長 菊地誠道君

### ○委員会条例第19条の規定により説明のため出席した人

町長	佐藤吉彦君
副町長	牛崎康人君
総務課長	齊藤正行君
企画財政課長	長野大介君
税務課長	齋藤和伸君
管理課長	山崎浩樹君
農林課長兼 農委事務局長	村山尚君
住民課長	村山新一君

保健福祉課長	浅野隆生君
建設課長	富原稔君
観光商工課長	三船英之君
水道課長	油谷岳人君
育成牧場長	若松務君
病院事務長	伊藤順司君
やすらぎ園長	穂刈武人君
教育長	青木悟君
教委管理課長	常陸勝敏君
指導室長	富樫慎也君
社会教育課長兼 中央公民館長	服部重典君

○職務のため出席した事務局職員

議会議務局長	中島吾朗君
庶務係	熊谷翔太君

(議長 菊地誠道君委員長席に着く)

◎開会の宣告

○議長(菊地誠道君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいまから議案第88号・議案第89号・議案第90号・議案第91号・議案第92号審査特別委員会を開会いたします。

(午後 2時45分開会)

◎委員長の互選

○議長(菊地誠道君) 委員会設置後最初の委員会でありますので、委員長、副委員長の互選が必要であります。

委員長の互選は、委員会条例第9条第2項の規定により、年長の委員がその職務を行うことになっております。黒沼委員が年長委員でありますので、黒沼委員に委員長互選の職務をお願いいたします。

休憩いたします。

休憩 午後 2時46分

再開 午後 2時46分

(年長委員 黒沼俊幸君委員長席に着く)

○年長委員(黒沼俊幸君) 休憩前に引き続き委員会を開きます。

ただいまの出席委員10名であります。

これより委員会条例第8条第2項の規定により、委員長の互選を行います。

互選の方法について発言を求めます。

類瀬君。

○委員(類瀬光信君) 委員長の互選については、指名推選とし、私から指名することでお諮り願います。

○年長委員(黒沼俊幸君) ただいま類瀬委員から指名推選の発言がありました。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○年長委員(黒沼俊幸君) ご異議ないものと認めます。

よって、委員長の互選は、類瀬委員からの指名推選に決定いたしました。

類瀬君。

○委員(類瀬光信君) それでは、委員長には長尾委員を推薦しますので、よろしくお取り計らい願います。

○年長委員(黒沼俊幸君) ただいま類瀬委員から、委員長に長尾委員の指名がありま

した。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○年長委員(黒沼俊幸君) ご異議ないものと認めます。

よって、委員長には長尾委員が当選されました。

休憩いたします。

休憩 午後 2時48分

再開 午後 2時48分

(委員長 長尾式宮君委員長席に着く)

○委員長(長尾式宮君) 休憩前に引き続き委員会を開きます。

#### ◎副委員長の互選

○委員長(長尾式宮君) 続いて、副委員長の互選を行います。

互選の方法について発言を求めます。

類瀬君。

○委員(類瀬光信君) 副委員長の互選については、指名推選とし、私から指名することでお諮り願います。

○委員長(長尾式宮君) ただいま類瀬委員から指名推選の発言がありました。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) ご異議ないものと認めます。

よって、副委員長の互選は、類瀬委員からの指名推選に決定いたしました。

類瀬君。

○委員(類瀬光信君) 副委員長には鈴木委員を推薦しますので、よろしくお取り計らい願います。

○委員長(長尾式宮君) ただいま類瀬委員から、副委員長に鈴木委員の指名がありました。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) ご異議ないものと認めます。

よって、副委員長には鈴木委員が当選されました。

休憩いたします。

休憩 午後 2時50分

再開 午後 2時50分

○委員長（長尾式宮君） 休憩前に引き続き委員会を開きます。

◎議案第88号ないし議案第92号

○委員長（長尾式宮君） 本委員会に付託を受けました議案第88号、議案第89号、議案第90号、議案第91号、議案第92号を一括議題といたします。

議題5案は、本会議で内容の説明を受けておりますので、直ちに質疑を行います。

質疑は、逐条質疑と総括質疑に分けて行います。

なお、議案第88号から議案第90号までと議案第92号の歳入歳出予算は歳入と歳出に分け、議案第88号の歳出は款ごとに行います。

初めに、議案第88号、一般会計補正予算、第1条、歳入歳出予算の補正、歳出から行います。

2款総務費について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、3款民生費について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、4款衛生費について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、6款農林水産業費について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

本多君。

○委員（本多耕平君） 18ページ、林業振興費の中で、先ほどの説明で18節、300万円、食肉加工補助というふうに説明がありました。これは以前から私もよく知っておりますけれども、総事業費が幾らで、その何%の補助をしたのか、さらには、この補助というのは、何%という決まりのある補助なのか、その点をお伺いいたします。

○委員長（長尾式宮君） 農林課長・村山君。

○農林課長（村山 尚君） お答えいたします。

今回の補助なのですが、委員おっしゃられたとおり、エゾシカ等加工処理施設の整備に対する支援でございます。こちらの事業費については、2者への助成を予定しております。まず、1人目の方に対する助成ですが、事業費のほうが3,158万5,000円でございます。もう一方については、事業費で110万円でございます。最初の方に対する補助については252万3,000円、後者の方については55万円です。

この補助率の割合なのですけれども、基本的にはG O G Oチャレンジショップに準じた形で補助を考えております。補助対象経費が687万5,000円未満の場合は対象補助経費の50%、補助対象経費が687万5,000円以上の場合は、補助対象経費の8%以内として1,000万円を限度額とするものでございます。それで、前者のほうの補助金額につきましては252万3,000円、後者の方につきましては55万円、合わせて307万3,000円の補助を予定しております。

以上です。

○委員長（長尾式宮君） ほかにご質疑ございませんか。

鈴木君。

○委員（鈴木裕美君） トレーニングセンターのトレーニングルームの器具購入なのですが、何台でどのような器具なのでしょう。お知らせください。

○委員長（長尾式宮君） 社会教育課長・服部君。

○社会教育課長（服部重典君） お答えいたします。

トレーニングセンターの機器の更新につきましては、種類は多数あるのですが、大きいもので、主なものでパワーラック、あとアジャスタブルインクラインベンチ、ちょっと言いづらいのですが。あと、棒なのですけれども、オリンピックバーという棒、そのほかウレタンのダンベル、それぞれちょっと違う重さのダンベルと、それと金額的にちょっと大きいものでいきますと、下に敷くゴムマットがあります。マットですね。そういったものを更新するという形であります。

以上です。

○委員長（長尾式宮君） 鈴木君。

○委員（鈴木裕美君） 今後も、今までのあるものの中で器具の更新あるいは新しい器具を入れるという考え方はありますか。

○委員長（長尾式宮君） 社会教育課長・服部君。

○社会教育課長（服部重典君） お答えいたします。

実は、今年度補正させていただきまして、リースで先にトレーニング機器の一部を入れております。実は、その機器を入れてからトレセンの利用者が非常に増えておりまして、具体的に言いますとトレッドミルという、歩行したりランニングしたりできる機器なのですが、こちらにつきましてはちょっと待ち時間が出ている状況もあるということ、こういった部分については担当として台数を少し増やしていきたいという意向はございます。

以上です。

○委員長（長尾式宮君） ほかにご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、7款商工費について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) なければ、8款土木費について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) なければ、9款消防費について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) なければ、10款教育費について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

類瀬君。

○委員(類瀬光信君) 10款6項1目保健体育総務費の中で、北海道ワイルズを応援する会補助金250万円計上されています。これ単純に、先日、新聞報道の情報だけですが、北海道ワイルズそのものがそのままの形で残るかどうかということに関して懐疑的な記事が出ていたわけですが、そのあたり、今回補助金を出しますけれども、どういった見込みで補助金を出すことになりますか。

○委員長(長尾式宮君) 社会教育課長・服部君。

○社会教育課長(服部重典君) お答えいたします。

今後の見込み等につきましては、私どもも新聞報道等でしか情報がないわけです。現在、今日の道新にもちょっと出ていましたが、今月から全日本選手権が始まるということで、アジアリーグには今年度加盟にはなっていないのですが、同等の力があるということで特別に参加が認められていると。先日の新聞報道でも釧路アイスホッケー連盟から推薦を受けたという記事も載っていましたので、今後はそういった形でアジアリーグ等にも、加盟できるというのは分からないのですが、加盟できたらなという、そういう期待はございます。

以上です。

(「ワイルズがなくなるのかなんて」の声あり)

(「いいです」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) いいですか。

鈴木君。

○委員(鈴木裕美君) ワイルズの関係なのですが、この補助金に関しての内容といたしますか、1月の末に交流会もあるということを伺っておりましたけれども、内容をお聞かせください。

○委員長(長尾式宮君) 社会教育課長・服部君。

○社会教育課長(服部重典君) お答えいたします。

応援をする会では、北海道ワイルズの試合のスペシャルマッチデーの開催と、あとワイルズ選手を講師に招いた、子供を対象としたスケート教室、また、トレーニング教室の開催、また、町民との交流試合なども含めたイベントを開催するという予定になっております。また、イベント参加者への記念品の配付や町民との交流会なども予定されているという内容でございます。

以上です。

(「いいです」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) ほかにご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) なければ、第1条、歳入歳出予算の補正、歳入、10款地方交付税から21款町債まで一括して質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

黒沼君。

○委員(黒沼俊幸君) 9ページ、13款使用料及び手数料の中身で、補正額が2,046万6,000円、この中身について詳しく教えてください。どうしてマイナスになったかもよろしくをお願いします。

○委員長(長尾式宮君) 育成牧場長・若松君。

○育成牧場長(若松 務君) 牧野施設使用料の減額補正の内容なのですが、当初の見込みより入牧頭数が減っているということでもあります。

頭数の移り変わりを少しご説明しますが、令和4年当初から11月まで大体1日2,300頭前後で安定して推移していたのですが、令和4年12月から春の4月ぐらいまで頭数の減少が見られ、4月の段階で2,100頭程度になっています。今年4月から2,100頭程度で推移していたのですが、また11月になりましてから若干頭数の減少が見られ、現在は2,000頭の在牧頭数ということで、減少傾向が見られます。昨今の営農状況、営農計画の見直しなどの影響もあると思いますけれども、昨年から連続して発生させてしまっているサルモネラ症による哺育利用者の信頼を落としてしまったということ、深く責任を感じております。

以上です。

○委員長(長尾式宮君) 黒沼君。

○委員(黒沼俊幸君) 病気の原因が、私も薄々聞いておりましたが、いまだ今年度も、去年からある程度尾を引いているのかなと思うのですが、哺乳の件でちょっと推移をお知らせください。

(何事か言う声あり)

○委員長(長尾式宮君) 育成牧場長・若松君。

○育成牧場長(若松 務君) サルモネラ発生以前につきましては、一月約70頭から80

頭の入牧で推移をしていました。現在、昨年3回の発生をして、春から落ち着いて運営していたのですけれども、大体一月50頭ぐらいの入牧頭数に減っております。戸数も3軒ほどは完全に利用しなくなったという戸数がございます。10月に、保菌という形なのですけれども、発症までいかなかったのですけれども、またサルモネラが出てしまいました、ただ、こちらに関しては抗生物質の治療を行うことなく正常化まで持っていったということで、今、サルモネラ対策、みんな頑張っていますけれども、少し効果が見えて、今後さらに注意深く運営していきたいと考えています。

以上です。

○委員長（長尾式宮君） ほかにご質疑ございませんか。

鈴木君。

○委員（鈴木裕美君） 10ページの一般寄附の関係ですが……

○委員長（長尾式宮君） マスクを取って。

○委員（鈴木裕美君） 聞こえますものね。

（「聞こえない」の声あり）

○委員（鈴木裕美君） 聞こえます。

寄附何件なのかなというふうに思います。先般マスコミ報道でも道外の業者さんといえますか、会社からの寄附を受けたということが報道されておりましたけれども、この1,120万円、何件の寄附を受けましたか。

○委員長（長尾式宮君） 企画財政課長・長野君。

○企画財政課長（長野大介君） お答えしたいと思います。

地方創生応援税制寄附金の部分なのですけれども、今までで5件で、1,250万円というふうになっております。

以上です。

○委員長（長尾式宮君） ほかにご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、第2条、繰越明許費について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

鈴木君。

○委員（鈴木裕美君） 衛生費の清掃費、ごみ運搬車購入事業が繰り越されたということなのですが、その原因を教えてください。

○委員長（長尾式宮君） 住民課長・村山君。

○住民課長（村山新一君） お答えさせていただきます。

衛生費のごみ運搬車購入事業ということで、今年度、4トン平ボディと塵芥車2台を契約させていただきました、納期は来年の3月31日という状況で契約させていただいております。今年度、契約、入札後の執行残が出ましたので、その分46万7,000円を減

額して3,034万6,000円の補正というふうになります。

○委員長（長尾式宮君） ほかにご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、第3条、債務負担行為の補正について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、第4条、地方債の補正について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、議案第88号、一般会計補正予算を終わります。

次に、議案第89号、国民健康保険事業事業勘定特別会計補正予算、歳入歳出予算の補正、歳出について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、歳入歳出予算の補正、歳入について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、以上で議案第89号、国民健康保険事業事業勘定特別会計補正予算を終わります。

次に、議案第90号、介護保険事業特別会計補正予算、第1条、保険事業勘定、歳入歳出予算の補正、歳出、一括して質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、歳入、一括して質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、第2条、介護サービス事業勘定、歳入歳出予算の補正、歳出について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、歳入について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、第3条、債務負担行為について質疑を許します。  
ご質疑ございませんか。

鈴木君。

○委員（鈴木裕美君） 債務負担行為ということで、令和6年の4月から業務委託をされるということだと思のですが、私が一番心配しているのは、今いる職員の皆さんの身分といいますか、所得の条件が下回らないようにということで、前回の全員協議会の中でも一応お聞きしたのですけれども、今いる職員さんはやっぱり不安がっているのですね、民間に委託になるということが。ですから、ぜひ……総括になるかもしれない。

（「そうだ」の声あり）

○委員（鈴木裕美君） 身分が、要するに所得保障も含めて心配させないように、低下しないような業務委託をしていただければというふうに思いますが、いかがですか。

○委員長（長尾式宮君） やすらぎ園長・穂刈君。

○やすらぎ園長（穂刈武人君） お答えしたいと思います。

さきの全員協議会の中でもご説明させていただきましたけれども、今お話を進めている業者の方、打合せしている業者の方は、基本、今の収入はできる限り下回らないという形でお話しされていますし、これもさきの協議会の中で説明させていただきましたけれども、現状の給料と見比べるとそんなに変わらないというような状況で参考見積りも出ております。あとは、予算議決いただければ、この後、入札をやって、請負業者が決まりましたらまた改めてそういうお話はしていきたいな、そのように考えております。

○委員長（長尾式宮君） ほかにご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、以上で議案第90号、介護保険事業特別会計補正予算を終わります。

次に、議案第91号、病院事業会計補正予算、第1条、総則から第3条、他会計からの繰入金まで、一括して質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、以上で議案第91号、病院事業会計補正予算を終わります。

次に、議案第92号、一般会計補正予算、歳入歳出予算の補正、歳出について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（長尾式宮君） なければ、歳入歳出予算の補正、歳入について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) なければ、以上で議案第92号、一般会計補正予算を終わります。

以上で議題5案の逐条質疑は終了いたしました。

休憩いたします。

休憩 午後 3時13分

再開 午後 3時13分

○委員長(長尾式宮君) 休憩前に引き続き委員会を開きます。

続いて、議題5案一括して総括質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

類瀬君。

○委員(類瀬光信君)(発言席) 私は、綿羊生産の現状と今後の在り方について町の考えをお伺いします。

標茶町の綿羊生産は、標茶町育成牧場が全面的に担っています。観光資源として、あるいは特産品として生産が続けられています。良質のラムを中心に、休業中の観光宿泊施設や町内の精肉店の目玉商品として観光客や町民に親しまれてきました。生体の販売価格改定後は町内での流通は限定的となりましたが、ふるさと納税の返礼品として需要が高まっているというふうに承知しております。

そこで伺います。

現状、綿羊の生産に関する数値でございすけれども、まず年間の販売頭数、そして販売金額、これはどのくらいになっていますか。

それと、そのことに要する経費はどのくらいかかっていますか。ちょうど予算編成の時期ですので、令和6年度の見込みでよいですし、概算で構わないので、数字をお知らせください。

○委員長(長尾式宮君) 育成牧場長・若松君。

○育成牧場長(若松 務君) お答え申し上げます。

来年、令和6年度の、今、現場で考えている見込みですけれども、頭数として販売頭数は70頭、生体が3頭。70頭というのは肉にするという意味です。あと、それがいろいろ体重などによるのですけれども、少なく見積もって500万円ぐらいの売上げ。

経費につきましては、今後、予算ヒアリングなど、そういうものもあります。経常として考えますと、通年大体700万円から800万円ぐらいの経費かなと思います。

以上です。

○委員長（長尾式宮君） 類瀬君。

○委員（類瀬光信君） 今、町では地域おこし協力隊員を受け入れるなどして運用の生産体制を変えていこうとしていると思うのですが、今の関連経費の中には、地域おこし協力隊員、現在2名いると思いますが、その方の賃金というのは入っていますか。

○委員長（長尾式宮君） 育成牧場長・若松君。

○育成牧場長（若松 務君） 今の経費の中には、地域おこし協力隊の部分は含んでいません。今現在いるのは1名です。来年につきましては、できればという思いがあるというだけですので、この辺は、予算ヒアリングもこれからありますし、決まったことではありません。

○委員長（長尾式宮君） 類瀬君。

○委員（類瀬光信君） 北海道内で自治体の牧場で直営で綿羊を生産しているところというのは、標茶町のほかに多分、道北に1件、1牧場あるだけで、その1件は今年の8月で廃止されています。洞爺湖サミットの晩さん会に食材としてラム肉を提供したというような非常に評価の高い、60年以上の歴史のある、そういう牧場でしたけれども、規模で言うと、標茶町の育成規模とあまり変わらないのですね。売上げについて年間1,000万円ぐらい。ただ、それに係る人件費等経費が2,500万円、ふるさと納税で非常に人気があるので、そこから500万円を入れるのだけれども、大体2,000万円の赤字が出ているということで、町長が替わった時点で廃止するという、そういうことになりました。

その後を引き継ぐ業者さんを募集していたりとか、いろいろそういうことがあって、私、多少綿羊に詳しいものですから、呼ばれてそこの牧場とかも見てきました。なかなか自治体が綿羊生産をやって収支のバランスを整えるということが非常に難しいということその現場に立ち会って思いましたし、そこの町の全員協議会等で廃止に向けて説明した資料等も見せていただきましたし、町長とも直接お話をしましたが、これ以上持ち切れないということで廃止に至ったわけです。幸い、その後の継ぐ業者さんというのが、違う地域ですけれども、養鶏場がそこを引き継ぐ、そこの町としては牧場施設一式を無償で貸し出し、綿羊自体も150頭を無償で譲渡するという形で町としての生産を終了しています。

そういう綿羊の生産自体が非常に、採算面だけを考えると難しいものでありますけれども、標茶町として今後、綿羊生産をどのようにしていくのかということをお聞かせいただければと思います。

○委員長（長尾式宮君） 育成牧場長・若松君。

○育成牧場長（若松 務君） 私のほうから標茶町として今後どうするかということをお伝えできるとは私も思っていないのですけれども、現場を担当する身から今後どのようにしていったらいいのかなということは常日頃、現場の中でも話していますし、感じる部分がありますが、今、地域おこし協力隊に1名来ていただいています。将来、標

茶で綿羊も含めて、綿羊だけでは厳しいだろうということで、綿羊も含めた中で複合的な事業を行っていききたいという夢を持った方が来ていらっしゃるので、できるだけそういう方を後押しできるような育成牧場としての体制をつくっていききたい、そういうふうに現場としては考えています。

○委員長（長尾式宮君） 副町長・牛崎君。

○副町長（牛崎康人君） お答えいたします。

今、類瀬委員から、ほかの自治体の様子もお聞かせいただきました。経営的にはやはり厳しいものがあるというのは、どこも一緒なのだというふうに思っております。

ただ、ご案内のとおり、育成牧場の羊というのは、これまでの経過とか、あるいは現状、あそこの風景の中で、訪れた方にも喜んでいただいている、それからこの先の食肉としての可能性についてはまだ追求し切れているとは思っておりませんので、その辺の可能性を含めてもう少し頑張ってみるべきだというふうに考えております。

○委員長（長尾式宮君） 類瀬君。

○委員（類瀬光信君） 綿羊生産につきましては、私も単純に赤字だから、黒字だからということで評価をしてはいけないなというふうに思っています。そのつもりで今回関わった綿羊牧場の廃止でも、その町の資源として非常に将来、単純に食肉ということではなくて、農福連携であるとか、それから羊毛であったり皮革製品であったり、そういったものに結びついていくものであるし、また、結びつけていかなければならないものだと思います。

さらには、釧路管内で言うと、白糠町にソーラーグレージングという形で営農型太陽光発電、そこで羊を多頭飼育するという計画があります。それから、新ひだか町でもソーラーパネルの会社がやはり競走馬の生産牧場を買い取って、大規模に羊を生産するという計画があります。白糠町で生産活動を行うという業者については、標茶町も含めて近隣の町村の中で、そういった取組をどんどん拡大しようという、そういう動きがありますので、今、場長も、それから副町長もおっしゃっていますけれども、私も単純に綿羊の肉の生産ということにだけこだわっていくと、残念ながらそういった大規模の生産者の中で埋没していく可能性というのが高くなってしまいます。そこでなのですけれども、私は、町が綿羊生産を継続していくに当たって、このままでは標茶町育成牧場の負担ばかりが増大してしまうということを危惧しています。特に本業である育成牛、哺育牛、そういったものに関する疾病対策で非常に苦労している中で、牛との共通の疾病を数多く抱える羊をあな場所多頭飼育していくということは、非常に危険性が高いなということは以前から申し上げてきました。

そこでですが、私は、今後、町営牧場自体は、場長おっしゃられたように地域おこし協力隊の方の中で新規で綿羊牧場を開く、あるいは、今後、新規就農される方で、牛ではなくて綿羊牧場で新規就農されるというような方、さらには、かつては町営牧場に授

産施設の方々に来ていただいて綿羊のお世話をしていただいたという、農福連携という部分でも綿羊牧場の可能性というのは非常に大きなものがあると思っていますので、まずそういったことで、そこに良血の繁殖用の綿羊を供給する基地として、まず牧場に存在してほしいというのが私の第一の希望です。

加えて、観光展示用の羊を飼うということも、もちろんやぶさかではないと思います。

それから、現有の羊については、以前のように一部を本当に授産施設の方に預けて、生産活動や職業訓練の中で管理してもらおうということをぜひ何とか検討していただきたい。特にそのためには場所や施設が必要になるわけですが、標茶町内の市街地において綿羊の管理を中止する施設がありますので、そういった例えば授産施設の方が通いやすい環境に預けて、牧場でもアドバイスをしながら、そういった方々が管理するということがどうかということを検討いただけないか。

そして、一番これは心配なのは、標茶町育成牧場の職員数や収支の状況、さらには悪性カタル熱、プリオン病、サルモネラ症、ブルセラ病、ヨーネ病、そして新しいところではランピースキン病といった牛と羊に共通する疾病があるわけで、これに対する対策というのを、今後、今まで以上に神経を使って取り組んでいかなければいけないと思います。とりわけ悪性カタル熱やランピースキン病のように、もともとの病気のもとを持っているのがヤギや羊であって、それらの動物に対しては病原性がないのです。だから、それらの動物、ヤギや羊は、その病気を持っていても発症しないのです。ただ、牛は死に至る場合があるという、そういったちょっと特殊な病気に対する備えにも十分になっていくと思うのです。ですから、今の生産の在り方、よく見直しなどをされて、場長がおっしゃるように生産の場所を分散して行って、それぞれで家畜防疫の体制をつくりながらいくのが、私はこういった弱くて小さめの動物を、家畜を飼っていくためには必要な配慮だと思いますし、赤字だ、黒字だにこだわらずに、そういったところにいいものを供給していくのだということ町民から評価を受けていければいいのではないかなと思います。その点いかがですか。

○委員長（長尾式宮君） 類瀬委員、答弁するときに答弁するほうも的を絞って答弁すると思うので、質問の内容をもうちょっと簡素的にお願いしたいと思います。

育成牧場長・若松君。

○育成牧場長（若松 務君） 綿羊の病気の関係も含めてなのですけれども、私も以前、こういう考え方をということで発言したことがありまして、それはやっぱり共通の病気である牛と羊の防疫対策はまずしっかりやらないと、お預かりしている牛ですので、まずそのお預かりしている牛をしっかり守るということはもう大前提だと思うのです。そういう中で考えると本当に分散飼養ですとか、1か所で病気が発生しても、1か所ならもう一気に終わってしまいますから、分散飼養ですとか、そういうことは必要でないかなというふう以前から私も考えてはいましたが、いずれにいたしましても、今後、関

係団体も含め、関係部署も含め、今後の在り方を企画していきたいと思っておりますので、ご理解のほうお願いいたします。

(「以上で終わります」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) ほかにご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) 質疑はないものと認めます。

質疑は終結いたしました。

これより討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) 討論ないものと認めます。

これより議案第88号から議案第92号まで議題5案一括して採決いたします。

議題5案は、いずれも原案可決すべきものと決定してご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(長尾式宮君) ご異議ないものと認めます。

よって、議案第88号、議案第89号、議案第90号、議案第91号、議案第92号は、いずれも原案可決すべきものと決定いたしました。

#### ◎閉会の宣告

○委員長(長尾式宮君) 以上で議案第88号・議案第89号・議案第90号・議案第91号・議案第92号審査特別委員会に付託された議題案の審査は終了いたしました。

これをもって議案第88号・議案第89号・議案第90号・議案第91号・議案第92号審査特別委員会を閉会いたします。

(午後 3時33分)

以上、会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

議 長                      菊 地   誠 道

年長委員                      黒 沼   俊 幸

委 員 長                      長 尾   式 宮

